

Techno Report

【 エアコン内部の洗浄で夏をより快適に 】

梅雨が明けて夏本番です。1日の最高気温が35 を超える猛暑日など、エアコンを運転しても室内の温度が思ったほど下がらない時間帯が増加しています。エアコン室外機は基本的には空冷となっており、気温が高くなると冷却効率も低下してしまい、室内の温度を設定値にまで下げることができなくなってしまいます。

また室内温度を下げるうえで重要な役割をになっている熱交換器フィンには気づかないうちにほこりがたまり、熱交換効率の低下を招き10~20%ものエネルギーを無駄にしている機器も数多く見かけます。このほこりを取り除き、エアコンの能力を100%発揮させて、より快適に夏を過ごしましょう。

室内機内部洗浄

【室内空気汚染を防止し、劣化した冷却効率を回復させる】



天力セ型外観



洗浄前



薬品洗浄



洗浄後

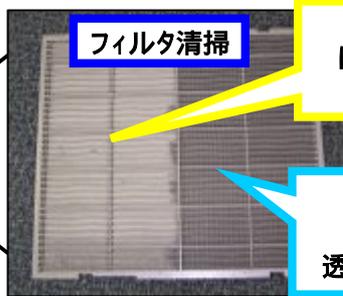
【室内外機合わせて10~20%の省エネになります】

パッケージエアコン



熱交換器

洗浄前
フィンにほこりが
積もっている



フィルタ清掃

清掃前
ほこりで白く
なってます

清掃後
メッシュが
透けて見えます



室外機の高圧洗浄



空調ドレンパンのスライム・カビ防止

ニュークリンスライム®Eを使用の実例



ニュークリンスライム®E
設置前

ドレンパンを清掃後
ニュークリンスライム®E
設置

空調シーズン終了後点検
スライム、カビの発生が
認められなかった。

